

第3章 調査対象者の属性

第1節 分析対象の基本的属性

本報告では女子一般学生との比較を通じて女子体育系学生のセクシュアル・ハラスメント経験の特殊性を検討する。したがって、回収した3,382部のうち、本報告ではまず女子学生分2,694部を抽出し、さらに所属大学と専攻の組み合わせから、大学の種別には関わらず体育・スポーツ・武道を専攻する「体育系学生」940名と、体育系以外の大学で体育・スポーツ・武道あるいは健康系以外の学部・学科を専攻する「一般学生」1,392名を選び出した。この体育系学生940名と一般学生1,392名を合わせた2,332名の基本的属性やスポーツ関連属性などについて表3-1に示した。

<年齢>

年齢については19歳の割合が最も多く35.4%、18歳が28.3%と続き、大学1～2年生が分析対象の6割以上を占める。平均年齢は19.35（±1.721）歳であった。

<学校種別>

分析対象のうち女子校に通っていた人の割合は小学校では0.2%にとどまるが、中学校では7.8%、高等学校では24.4%であり、次第に増えている。現在、女子大学に所属している人の割合は63.5%であり、この値は一般的な女子大学生の割合よりも多いと思われる。これは本調査の対象がそもそも女子学生と想定されており、調査対象として女子学生を確保するために調査対象校として女子大学が比較的多く選ばれたからである。また体育系と一般校を合わせると約9割が四大大生であり、約1割が短大生であった。

<アルバイト・社会活動経験>

現在および過去を含めてアルバイトをした経験がある学生は83.6%にのぼった。他方、地域におけるボランティア活動などを経験した学生は67.8%であった。

<過去のスポーツクラブ所属状況>

小学校時代に学校内外のスポーツクラブに所属していた人の割合は64.9%であった。この値は中学校時代に74.1%に増えるが、高等学校時代には62.2%に減少する。小学校から中学校にかけて増加し、高等学校に進学すると減少するという、日本の青少年に見られる典型的なクラブ所属率の変化を示している。

<現在のスポーツ実施・クラブ所属状況>

現在、個人的な活動も含めて運動・スポーツを行っている人の割合は50.7%であった。他方、学校内外のスポーツクラブへの所属についてみると、体育会運動部に所属する人は32.9%、スポーツ系のサークルや同好会への所属者は15.1%であった。体育会と同好会の双方に所属する人も0.4%おり、これらを全て合わせるとスポーツクラブへの所属は48.4%となる。つまり本調査の分析対象においては、現在運動やスポーツを行っている人（50.7%）のほとんどが、クラブに所属して活動をしていることになる。

表3-1. 分析対象の基本的諸属性(n=2,332)

年齢		小学校時代のクラブ所属	
18歳	28.3	所属	64.9
19歳	35.4	無所属	35.1
20歳	18.1	中学校時代のクラブ所属	
21歳	12.3	所属	74.1
22歳以上	4.5	無所属	25.9
無記入	1.3	高校時代のクラブ所属	
平均年齢	19.35±1.721	所属	62.2
小学校種別		無所属	37.8
女子校	0.2	現在のスポーツ実施	
共学校	99.6	実施	50.7
その他・無記入	0.2	非実施	48.8
中学校種別		無記入	0.5
女子校	7.8	現在のクラブ所属	
共学校	91.9	体育会運動部	32.9
その他・無記入	0.3	スポーツクラブ・同好会	15.1
高等学校種別		体育会とクラブ・同好会	0.4
女子校	24.4	無所属	49.0
共学校	75.3	無記入・不明	2.6
その他・無記入	0.3	現在の競技レベル	(n=1,129)
大学・短大種別Ⅰ		国際	2.5
体育系大学	29.5	全国	31.4
体育系短大	7.8	地方	19.1
一般大学	58.2	都道府県	8.6
一般短大	4.0	市町村	4.5
無記入	0.5	出場していない	25.2
大学・短大種別Ⅱ		その他	5.3
女子校	63.5	無記入	3.4
共学校	35.9	調査実施時間帯	
無記入	0.6	授業時間内	94.2
アルバイト経験		授業時間外	5.0
経験あり	83.6	無記入	0.8
経験なし	16.1	調査実施授業名	(n=2,196)
無記入	0.3	体育(必修)	36.1
社会活動経験		体育(選択)	25.7
経験あり	67.8	女性学・ジェンダー(選択)	13.8
経験なし	31.8	その他の授業	19.4
無記入	0.4	無記入	5.0

<調査実施時の状況>

既述のように、今回の調査は原則として各調査協力者の授業時間中に実施した。結果的に、授業時間中に回答した人は94.2%を占めた。さらに調査に回答した授業名をみると、必修および選択の体育関連の授業が半数以上を占め、選択の女性学あるいはジェンダー関連の授業が13.8%と続いた。

第2節 比較グループの基本的属性

次に、以上の基本的属性やスポーツ関連の属性について、一般学生と体育系学生の比較グループ別にみておこう。表3-2に示したように、各属性について比較グループの割合を算出しカイ二乗検定を行ったところ、ほとんどの属性における一般学生と体育系学生の割合は異なっていた。ここでは、一般学生と比べた場合の体育系学生における諸属性の特徴をまとめておく。

年齢については体育系学生で20・21歳の割合が多く、平均年齢においても体育系学生は一般学生よりも有意に高かった。学校の種別については、体育系学生は高等学校と現在の大学・短大が女子校である割合が高いことが特徴である。アルバイト経験に関しては一般学生と体育系学生とで差は見られなかったが、ボランティアなど社会的活動を経験している割合は体育系学生のほうが高かった。この社会的活動について具体的な内容は質問していないので詳細は不明だが、体育系学生が回答した社会的活動には、例えば国民体育大会や各種スポーツ大会などに大会の運営員として動員されるケースが含まれているのかもしれない。

スポーツ関連の属性に関しては、体育系学生として予想された通りの結果が出ている。つまり体育系学生では、小学校から高等学校にかけて運動部など学校内外のスポーツクラブに所属していた人の割合が高い。こうした傾向はスポーツ実施やスポーツクラブ所属の現状にも現れている。当然ではあるが、体育系学生では現在スポーツを実施し、あるいは体育会運動部に所属している人の割合が高い。また、体育会やサークル・同好会に所属している人の競技レベルについてしてみると、体育系学生では国際大会や全国大会に出場経験を持つ人の割合が多く、他方、一般学生では運動部やサークルに所属していながら競技大会に出場していない人が47.7%を占める。この背景にはそもそも実施している種目が異なるという可能性も考えられるが、全体としては一般学生のスポーツ活動が競技会に出場するようなものとしてではなく、レクリエーション的な目的で行われていることを示唆していると言えるだろう。

最後に本調査の実施状況については、体育系学生では本調査を授業時間内に受け、さらにその授業は必修や選択の体育関連の授業である傾向が強い。

以上のように、体育系学生と一般学生という比較グループ間には、スポーツ関連の属性だけではなく多くの基本的属性においても人数の偏りが見られる。このことから本調査の対象者は無作為サンプリングに基づいたものではないことがうかがわれ、この点はセクシュアル・ハラスメントというセンシティブなテーマを扱った本調査の限界でもある。この後、比較グループ間でセクシュアル・ハラスメントの認識や経験を比較していくことになるが、そこで確認される両グループ間の差違には表3-2に示したような人数の偏りが影響を及ぼしている可能性を念頭においておく必要がある。

表3-2. 比較グループごとにみた分析対象の基本的諸属性

	体育学生 n=1,392	一般学生 n=940	全体 n=2,332	χ^2 値
年齢				
18歳	20.3	33.7	28.3	66.394***
19歳	35.7	35.1	35.4	
20歳	21.9	15.6	18.1	
21歳	16.1	9.8	12.3	
22歳以上	4.4	4.6	4.5	
無記入	1.6	1.1	1.3	
平均年齢	19.49±1.18	19.26±2.00	19.35±1.721	
小学校種別				
女子校	0.4	0.1	0.2	4.133
共学校	99.5	99.6	99.6	
その他・無記入	0.1	0.3	0.2	
中学校種別				
女子校	6.8	8.4	7.8	2.429
共学校	93.0	91.2	91.9	
その他・無記入	0.2	0.4	0.3	
高等学校種別				
女子校	29.4	21.0	24.4	21.651***
共学校	70.4	78.7	75.3	
その他・無記入	0.2	0.4	0.3	
大学・短大種別Ⅰ				
体育系大学	73.0	0.1	29.5	2012.428***
体育系短大	18.9	0.2	7.8	
一般大学	7.8	92.2	58.2	
一般短大	0.2	6.6	4.0	
無記入	0.1	0.8	0.5	
大学・短大種別Ⅱ				
女子校	75.5	55.3	63.5	99.969***
共学校	23.8	44.0	35.9	
無記入	0.6	0.6	0.6	
アルバイト経験				
経験あり	81.9	84.7	83.6	6.322*
経験なし	17.4	15.2	16.1	
無記入	0.6	0.1	0.3	
社会活動経験				
経験あり	71.4	65.3	67.8	14.274**
経験なし	27.9	34.4	31.8	
無記入	0.7	0.2	0.4	

表3-2. つづき

	体育学生 n=1,392	一般学生 n=940	全体 n=2,332	χ^2 値
小学校時代のクラブ所属				
所属	81.9	53.4	64.9	200.031***
無所属	18.1	46.6	35.1	
中学校時代のクラブ所属				
所属	96.8	58.8	74.1	422.422***
無所属	3.2	41.2	25.9	
高校時代のクラブ所属				
所属	96.4	39.1	62.2	782.663***
無所属	3.6	60.9	37.8	
現在のスポーツ実施				
実施	83.0	28.9	50.7	657.136***
非実施	16.7	70.5	48.8	
無記入	0.3	0.6	0.5	
現在のクラブ所属				
体育会運動部	66.6	10.1	32.9	917.985***
スポーツクラブ・同好会	15.1	15.2	15.1	
体育会とクラブ・同好会	0.7	0.2	0.4	
無所属	15.2	71.8	49.0	
無記入・不明	2.4	2.7	2.6	
現在の競技レベル				
	(n=775)	(n=354)	(n=1,129)	
国際	3.6	0.0	2.5	240.637***
全国	42.7	6.5	31.4	
地方	18.5	20.6	19.1	
都道府県	9.7	6.2	8.6	
市町村	4.4	4.8	4.5	
出場していない	15.0	47.7	25.2	
その他	3.5	9.3	5.3	
無記入	2.7	4.8	3.4	
調査実施時間帯				
授業時間内	97.8	91.7	94.2	58.018***
授業時間外	1.0	7.8	5.0	
無記入	1.3	0.5	0.8	
調査実施授業名				
	(n=919)	(n=1,277)	(n=2,196)	
体育(必修)	45.2	29.6	36.1	493.690***
体育(選択)	42.3	13.8	25.7	
女性学・ジェンダー(選択)	2.4	22.0	13.8	
その他の授業	6.6	28.6	19.4	
無記入	3.5	6.0	5.0	